

文法概説

時間の表現

ウルドゥー語の時間表現には、日本語に似たものが多くあります。たとえば、○時半とか、○時 15 分前という表現はウルドゥー語にもあります。具体例を見てみましょう。

(ab pāc bajē haiṅ.) - اب پانچ بجے ہیں۔

今、5時です。

(sār^hē sāt bajē āiyē.) - ساڑھے سات بجے آئیے۔

7時半に来てください。

(karācī tak paunē tīn g^hantē lagtē haiṅ.) - کراچی تک پونے تین گھنٹے لگتے ہیں۔

カラーチーまで、2時間 45 分かかります。

(maiṅ sawā āṭ^h bajē uṭ^hā.) - میں سو آٹھ بجے اٹھا۔

私は、8時 15 分に起きました。

(ād^hē g^hantē meṅ ham āēṅ gē.) - آدھے گھنٹے میں ہم آئیں گے۔

半時間で我々は来ます。

bajā (～時) や **g^hantā** (～時間) は、語尾が **ā** で終わる名詞と同様の变化をします。つまり、2以上の数字とともに用いられる場合、その語尾は男性複数形の **ē** という音に変化します。ただし、後置詞がその後に来ても、後置格複数形の語尾に変化させる必要はありません。

wālā の使い方

ウルドゥー語には、**wālā** という語彙があります。この語彙は、語尾が **ā** で終わる形容詞と同じ变化をします。名詞や形容詞、動詞に付いてさまざまな意味になります。使えるようになると非常に便利な語彙です。以下に例を示します。

(1) 名詞とともに用いられる場合

(vō laṛkī g^har wālī nahīṅ bannā cāhtī.) - وہ لڑکی گھر والی نہیں بننا چاہتی۔

あの少女は、主婦にはなりたがっていない。

(ṭaikṣī wālā kahāṅ hai?) - ٹیکسی والا کہاں ہے؟

タクシーの運転手はどこですか？

(2) 形容詞とともに用いられる場合

(in meṇ acc^hā wālā kaunsā hai?) ان میں اچھا والا کونسا ہے؟

この中で、いいのはどれですか？

(vō safēd wālē kaprē dik^hāiyē.) وہ سفید والے کپڑے دکھائیے۔

あの、白い服を見せてください。

(3) 動詞とともに用いられる場合

動詞とともに用いられる場合には、動詞の語尾が **nē** となることに気をつけましょう。この語尾は変化しません。

(ṭren jānē wālī hai.) ٹرین جانے والی ہے۔

列車が出るところです。

(ham sōnē wālē thē.) ہم سونے والے تھے۔

私たちは寝るところでした。

(`īdul fitr ānē wālī hai.) عید الفطر آنے والی ہے۔

イーदウル・フィットルがもうすぐです。

(yahāṇ urdū bōlnē wālā kōī nahīṇ.) یہاں اردو بولنے والا کوئی نہیں۔

ここにはウルドゥー語を話すものは誰もいません。

未来形

ウルドゥー語動詞の未来形には、単純未来形と、不確定未来形の2種類があります。現在分詞や過去分詞を用いる変化とは異なる変化をします。未来形は、一部の動詞を除いて規則的な変化をします。不規則変化をする動詞は別途説明します。

まず、規則的な変化をする単純未来形の変化を見てみましょう。

主語が男性の場合

	单数	複数
1人称	میں اٹھوں گا maiṇ uṭ ^h ūṇ gā	ہم اٹھیں گے ham uṭ ^h ēṇ gē
2人称	تم اٹھو گے tum uṭ ^h ō gē	آپ اٹھیں گے āp uṭ ^h ēṇ gē

3人称	وہ اٹھے گا vō uṭḥē gā	وہ اٹھیں گے vō uṭḥēṅ gē
-----	--------------------------	----------------------------

次に、主語が女性の場合の変化を見てみましょう。

	单数	複数
1人称	میں اٹھوں گی maiṅ uṭḥūṅ gī	ہم اٹھیں گے ham uṭḥēṅ gē
2人称	تم اٹھو گی tum uṭḥō gī	آپ اٹھیں گی āp uṭḥēṅ gī
3人称	وہ اٹھے گی vō uṭḥē gī	وہ اٹھیں گی vō uṭḥēṅ gī

未来形を示す語尾が、男性単数が主語の場合には、گ (gā)、男性複数主語の場合には、گے (gē)、女性が主語の場合にはگی (gī) と変わっているのがわかります。ここでも、ā、ē、īの変化が生きています。一方で、それ以外の部分は全く同じということもわかります。つまり、動詞の部分は男性形、女性形ともに同一で、語尾のみが主語の性・数に応じて変化します。

動詞語幹に人称・性・数に応じた語尾を付加するという考え方は、未来形でも同じだということが、上記の表からわかると思います。

この単純未来形では、話者の意思が明確に表れます。

なお、ウルドゥー語話者の多くはムスリム(イスラーム教徒)です。彼らにとって、これから先に起きること、つまり未来の出来事は、全てアッラーの思し召しのままである、という考えが一般的です。したがって、ウルドゥー語話者がこの単純未来形を用いて話をする場合、しばしば inšā allāh انشاء اللہ(「アッラーの思し召しがあれば」)という一語を付加します。

明日、お会いしましょう。(inšallāh kal āp se milēṅ gē)- انشاء اللہ کل آپ سے ملیں گے

انشاء اللہ میں آجاؤں گا۔ (inšallāh maiṇ ā jāūṇ gā) 私は、来ます。

という具合です。

次に、不規則な変化をする動詞を見てみましょう。ここに挙げる動詞の変化は、一つ一つ覚えるしかありません。未来形の変化で不規則な変化をする動詞は、以下の3つです。

動詞 لینا lēnā の変化

主語が男性の場合

	单数	複数
1人称	میں لوں گا maiṇ lūṇ gā	ہم لیں گے ham lēṇ gē
2人称	تم لو گے tum lō gē	آپ لیں گے āp lēṇ gē
3人称	وہ لے گا vō lē gā	وہ لیں گے vō lēṇ gē

主語が女性の場合

	单数	複数
1人称	میں لوں گی maiṇ lūṇ gī	ہم لیں گے ham lēṇ gē
2人称	تم لو گی tum lō gī	آپ لیں گی āp lēṇ gī
3人称	وہ لے گی vō lē gī	وہ لیں گی vō lēṇ gī

動詞 دینا dēnā の変化

主語が男性の場合

	单数	複数
1人称	میں دوں گا maiṇ dūṇ gā	ہم ہیں گے ham dēṇ gē
2人称	تم دو گے tum dō gē	آپ ہیں گے āp dēṇ gē
3人称	وہ دے گا vō dē gā	وہ ہیں گے vō dēṇ gē

主語が女性の場合

	单数	複数
1人称	میں دوں گی maiṇ dūṇ gī	ہم ہیں گے ham dēṇ gē
2人称	تم دو گی tum dō gī	آپ ہیں گی āp dēṇ gī
3人称	وہ دو گی vō dē gī	وہ ہیں گی vō dēṇ gī

最後に、コンピュータ動詞である ہونا *hō-nā* の変化を見てみましょう。この動詞も、上で見

た لینا *lē-nā* や دینا *dē-nā* と似た変化をします。

主語が男性の場合

	单数	複数
1人称	میں ہوں گا maiṇ hūṇ gā	ہم ہوں گے ham hōṇ gē
2人称	تم ہو گے	آپ ہوں گے

	tum hō gē	āp hōṇ gē
3人称	وہ ہوگا vō hō gā	وہ ہوں گے vō hōṇ gē

主語が女性の場合

	单数	複数
1人称	میں ہوں گی maiṇ hūṇ gī	ہم ہوں گے ham hōṇ gē
2人称	تم ہوگی tum hō gī	آپ ہوں گی āp hōṇ gī
3人称	وہ ہوگی vō hō gī	وہ ہوں گی vō hōṇ gī

未来形2 (不確定未来形)

次に、不確定未来形と呼ばれる形を見てみましょう。まず、規則的な変化をする不確定未来形を見てみましょう。

不確定未来形は、話している内容に関して、話者の意志がはっきりしない場合に用いられるほか、相手の同意を求めたり、相手から許可を得たりする場合に用いられます。

次の2つの文を比べてみましょう。

ہم پاکستان جائیں گے۔

ham pākistān jāēṇ gē (私たちは、パキスタンへ行くでしょう。(行くことは確定している))

ہم پاکستان جائیں۔

ham pākistān jāēṇ (パキスタンへ行きましょうか。(他人を勧誘する場合、他人に意見を求める場合など))

上が、単純未来形、下が不確定未来形の文です。両者の違いは、文末に گے gē が付くかどうかだけです。しかし、両者が表す意味には大きな差があります。不確定未来

形は、単純未来形から **gā**、**gē**、**gī** を除くだけでつくられます。

主語が男性の場合

	単数	複数
1人称	میں اٹھوں maiṇ uṭḥ-ūṇ	ہم اٹھیں ham uṭḥ-ēṇ
2人称	تم اٹھو tum uṭḥ-o	آپ اٹھیں āp uṭḥ-ēṇ
3人称	وہ اٹھے vo uṭḥ-ē	وہ اٹھیں vo uṭḥ-ēṇ

次に、主語が女性の場合の変化を見てみましょう。

	単数	複数
1人称	میں اٹھوں maiṇ uṭḥ-ūṇ	ہم اٹھیں ham uṭḥ-ēṇ
2人称	تم اٹھو tum uṭḥ-o	آپ اٹھیں āp uṭḥ-ēṇ
3人称	وہ اٹھے vō uṭḥ-ē	وہ اٹھیں vō uṭḥ-ēṇ

上記の表を見ると、主語が男性の場合と主語が女性の場合とで、全く差がないのがわかると思います。また、アラビア文字で表記された文だけを見ると、例えば、

(vō uṭḥ-ē) وہ اٹھے۔

という文は、前後の文脈によっては、「彼らは起きた」という単純過去の文章としても機能することがわかります。しかし、実際には、前後の文脈によって、この文が単純過去なのか不確定未来なのかを迷うことはありませんので、問題はありません。

次に、不規則な変化をする動詞を見てみましょう。ここに挙げる動詞の変化は、一つ一つ覚えるしかありません。未来形の変化で不規則な変化をする動詞は、以下の3つ

です。

動詞 لینا lēnā の変化

	単数	複数
1人称	میں لوں maiṇ lūṇ	ہم لیں ham lēṇ
2人称	تم لو tum lō	آپ لیں āp lēṇ
3人称	وہ لے vō lē	وہ لیں vō lēṇ

動詞 دینا dēnā の変化

	単数	複数
1人称	میں دوں maiṇ dūṇ	ہم دیں ham dēṇ
2人称	تم دو tum dō	آپ دیں āp dēṇ
3人称	وہ دے vō dē	وہ دیں vō dēṇ

最後に、コンピュータ動詞である ہونا hōnā の変化を見てみましょう。この動詞も、上で見た

لینا lēnā や دینا dēnā と同じ変化をします。

	単数	複数
1人称	میں ہوں maiṇ hūṇ	ہم ہوں ham hōṇ

2人称	تم ہو tum hō	آپ ہوں āp hōṅ
3人称	وہ ہو vō hō	وہ ہوں vō hōṅ